

こんな人に 支えられている 松江の子育て

1 作業療法士さん

フリーの作業療法士として、暮らしの場で子どもを育つ力を引き出すサポートをしている引野里絵さんにお話を伺いました。



引野 里絵さん
作業療法士 / 保健福祉学修士

暮らしの場で過ごすことが、暮らしに環境を作る。

1998年から作業療法士として子どもたちの発達支援に携わる中で、診療室でできていても、自宅や学校など実際の暮らしの場でできなくていいのだからかという思いや、サポートを必要としているのに制度には乗らない人への思いなど、施設の職員としてできることとの限界を感じることが多

くなり、2016年に独立して Rie Child Support を設立しました。

苦手な背景を知る

たとえば、勉強するのが嫌という場合でも、その原因は一人ひとり違いま。鉛筆が握りにくくて疲れが出てくる子の場合、鉛筆の太さを変えてみる。白いノートに黒の鉛筆で書く、コンラストが強すぎて目が眩しいと感じている子の場合、ノートや蛍光灯の色を変えてみる。姿勢を保持することがつらい子の場合、座りやすくなる椅子やクッションを使う。もちろん、日々の生活の中で、姿勢を保持できる力をつけるようにしていくのも大切です。その子が嫌だと感じていることの原因を一緒に探して、やり方や道具を変えてみることで、疲れにくく、スムーズにできるふうになる。嫌じゃなく、楽しくなると、本来の能力が発揮できるようにサポートする、というのが目標です。

大人側の意識。向き合う時間の大切さ。

2 児童クラブ

通常から放課後や長期休み中の児童の安全を確保し、より充実した時間を過ごせるようにと粉砕砕身。2020年は新型コロナウイルスの感染予防策も加わり、その多忙さは極まりました。それでも、一番に子どもたちのことを考えて対応している指導員さんたち。その一人、中央児童クラブの指導員 正城和久さんにお話を伺いました。



正城 和久さん
中央児童クラブ 指導員
中央第2児童クラブ 指導員

Q. 今のお仕事に就かれた理由や経緯は？

西宮市で重度障害者宿泊施設の職員から、同市の児童クラブの指導員に変わったのが最初です。阪神大震災ではありえない様子を見せつけられ、復興支援をしてきましたが、今から約25年前に松江市に戻りました。Uターン後2年間は保育所に勤めていましたが、松江市が公設児童クラブで障害児の受け入れをすることとなり、加配の指導員として川津児童クラブに勤務。その後、障害児の数が

妊娠中、出産後、子どもの成長と、その時々さまざまな不安や悩み事が生じます。そんな時に「私たちが応援しています。気軽に相談してくださいね」と温かくサポートしてくれる人たちがいます。

ただ、嫌だと感じていることを全部やる必要があるのかを周囲の人に考えてもらうことも大切だと思っています。園や学校、自宅でも、周囲の大人が、理想的な発達に近づけようと、子どもの気持ちに向いていることよりも、自分達のやってほしいことに向けようとして過ぎてしまうことも多いですが、実は子どもの言葉を聞いて、大人側が関わり方や見方を変えることでスムーズになることも多いのです。できないことより、やりたいこと、意欲的にやっていることをみる。集団や社会生活の中で、上手に過せるように修正もしつつ、その子の個性、その子の世界が広がるように一緒に考える。そのやり取りがプロセスの時間、向き合ってくれる、受け入れてくれるという信頼感が大切だと思います。

畑の時間

幼少期は隠岐の島と出雲で暮らし、毎日学校の帰り道のただ広い原っぱで、近所の子たちと遊んで育ちました。若いころは都会への憧れがありましたが、今は都会ほど、大人も子どもも張りつめていて疲れている、ゆるめ

Q お仕事や子どもたちに対する思い、仕事で大事にしていること

日々追われ「こうです」と言えることがなかなか思いつかないのですが…。一番は何よりも子どもたちの命と心を守ること。次に「食」だと思っています。家庭とは違う味を知り、それを受け入れることは社会で生きていくためにとても重要なことだと思っています。だからおまじ、おいしかったよって言うてもらえることを大切にしています。

Q やりがい

前にも大学生に聞かれたことがありましたが、うまく答えられず…。それぞれが個々人に大人になっていく過程で、小学校1〜3年生のこんな楽しい時間に、こんな大人(僕のこと)が参加させてもらっていること。とても感謝です。

Q 課題や困っていること

スタッフの確保です。児童クラブでは、学校の下校時に合わせて勤務、学校休業日は1日勤務をしています。常に学校の下校時間に対応できるようにしているため、拘束時間が長いのが現状です。また、公設児童クラブの指導員は時給制なので、月々の労働時間により月の収入が安定しません。社会保障もなく低所得のため指導員が自立するための生活ができないのは課題だと感じています。現場は多くの命と心を守り抜く職務を果たさなければなりません。今後ますます児童クラブを利用する家庭は増えると思いますが、受け入れを充実させるためのスタッフ確保が難しいです。



る感覚が分からない人が増えていると感じています。自然と共存していく体感をしたいと、3、4組の親子さんと畑の時間」を過ごしています。釣りをしたり、川で遊ぶ。竹を切り出して火を起こし、コーヒを入れる。そんな時間が子どもにも大人にも大切なんだと思います。



Rie Child Support
(リエチャイルドサポート)

電話 090-9467-4732
受付時間 9:00-19:00

URL: <http://riecs.net>

Q コロナ禍における変化

仕事として選べる人が増えるように、また働き続けられるように、働く条件の整備が願っています。



この日のおやつは、温ったかいにゅ種トッピングは、カツオ節・ノリ・天かすネギ、七味から、子どもたちがお好みでチョイス